

組織現勢 (7月1日現在)	
組合員数	23,855 世帯
出資口数	79,395 口
6月の新規加入	11 世帯
6月の増資口数	913 口

R100 古紙配合率 100% 再生紙
を使用しています。

城南の保健

発行所
城南保健生活協同組合
本部事務局 大田区大森中1-22-1 2階
TEL (3 7 6 2) 0 2 6 6
振込銀行 さわやか信用金庫大森支店
口座(普) 0469459
発行「城南の保健」編集委員会
毎月1回発行・定価1部 30円



入口は大森薬局と同じ入口です



2階へはエレベーターでお越しください

7月1日より 本部事務所が 移転しました

住所 大田区大森中1-22-1 2階

今まで大森薬局があった場所です。
大森薬局は2階から1階に移りました。
大森中診療所の隣です。
大森東中学校バス停前でもあります。

電話 03-3762-0266
(今までと変わりません)

組合員のみなさん、今度の場所は大森中診療所の隣です。診察などでこられて、時間をございましたら、ぜひ、お立ち寄りください。

血圧計、体脂肪計、歩数計、チューブ体操の道具、わかめ、そうめん…なども取り扱っています。

7月14日(土)

雨の中「なかしん(中診)まつり」に60人が参加 子どもたちからは「今度はいつやるの?」「またやってね!!」

この「まつり」は、城南保健生協大森稲谷支部が主催し、昨年行われた大森中診療所前でのバザー収益を還元しようという試みで行われました。

ポップコーン、わたがし、かき氷、水風船釣り…などすべて無料、健康チェックも行いました。



大人もけん玉に夢中



子どもたちに大人気だった水風船釣り



血圧測定、体脂肪測定も行いました

城南保健生協では、今年6月17月を月間としてとりくみ、①2カ所目のグループホーム建設のためのサマー増資目標500万円、②新しい班は15班(1支部一般、③大腸がん検診を100人の方を受けたいたくどろくみを行ってまきました。7月14日現在、増資1179件・166万9000円

新班3カ所
大腸がん検査15人
となっております。引き続き、とりくみへの協力をお願いします。

6月1日~ 7月31日の 「月間」報告



ポップコーンも好評



わたがしには長い列が

うつつしい梅雨空が続いています。それに合わせたように、気の重くなるような出来事ばかりです。年金百年安心だったはずが、大多数の国民が年金の不安におののいています。さらに住民税が庶民を襲い、そのあとは年金の財源確保という名目で消費税のアップが待ちかまえています。この世相をいつそう暗くするのでしょうか、日本列島を台風4号が襲い、そして中越地方を3年の間隔も開けずに強烈な地震が襲いました。被災地には国をあげての支援が必要で、それと共に自然災害への備えも大切です。近年は行政の側からの「自立・自助」の呼びかけが強まっています。政府・行政に頼らず、自分のことは自分で守れということ。いま全国で小学校区単位で災害本部が立ち上げられ、住民に自立・自助の浸透をはかっています。裏を返せば行政の責任放棄にはなりません。庶民に負担の増大を強いる、住民税増税、消費税率アップのねらい。そこにも政府の責任放棄の姿勢が浮かび上がってきます。▼「美しい国」をめざすことは、いっそう格差のきびしかった戦前への逆行が予想されます。力の弱い者は強者に従い、そして犠牲にされた時代でした。真の自立・自助を求め、社会の平等と平和をめざす勢力には弾圧が待ちかまえていました。▼いま国民に自立・自助を求め、右手中で財界から献金を受け、左手で政助成金を受けとっています。自らの自立・自助を放棄して財界に委任する勢力に「希望もてる社会」は訪れません。

腹八分

うつつしい梅雨空が続いています。それに合わせたように、気の重くなるような出来事ばかりです。年金百年安心だったはずが、大多数の国民が年金の不安におののいています。さらに住民税が庶民を襲い、そのあとは年金の財源確保という名目で消費税のアップが待ちかまえています。この世相をいつそう暗くするのでしょうか、日本列島を台風4号が襲い、そして中越地方を3年の間隔も開けずに強烈な地震が襲いました。被災地には国をあげての支援が必要で、それと共に自然災害への備えも大切です。近年は行政の側からの「自立・自助」の呼びかけが強まっています。政府・行政に頼らず、自分のことは自分で守れということ。いま全国で小学校区単位で災害本部が立ち上げられ、住民に自立・自助の浸透をはかっています。裏を返せば行政の責任放棄にはなりません。庶民に負担の増大を強いる、住民税増税、消費税率アップのねらい。そこにも政府の責任放棄の姿勢が浮かび上がってきます。▼「美しい国」をめざすことは、いっそう格差のきびしかった戦前への逆行が予想されます。力の弱い者は強者に従い、そして犠牲にされた時代でした。真の自立・自助を求め、社会の平等と平和をめざす勢力には弾圧が待ちかまえていました。▼いま国民に自立・自助を求め、右手中で財界から献金を受け、左手で政助成金を受けとっています。自らの自立・自助を放棄して財界に委任する勢力に「希望もてる社会」は訪れません。